

【公開Ⅰ】3年3組 保健体育科学習指導案

北体育館 中村 幸智

1 単元名 リズムダンス ～ふぞくっこリズムダンス3年～

2 指導の立場

(1) 題材について

学習指導要領解説では、リズムダンスとは「軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って仲間とかかわって踊るのが楽しい運動で、いずれも自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習が進められるのが特徴」と示されている。中学年のリズムダンスは、自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習であるため、得意・不得意が見えにくく、勝敗もない。そのため多くの児童が安心して活動し、運動に親しむ態度を育てることができる題材である。さらに、話し合いで互いの考えた動きを出し合ったり、仲間の踊りを認め合ったりしながらよりよいものを目指していくことで、個人や集団の課題を解決する学習を展開するのに適している題材でもある。そこで、リズムダンスの楽しさや喜びに触れ、リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりしながら、即興的に、自由に踊ることができるようにする。

(2) 児童生徒について

本学級は、体を動かすことが好きな児童が多く、体育の授業も意欲的に参加している姿が見られる。児童は、日常的にテレビや SNS 等でダンスに触れる機会が多く、リズムダンスは比較的関心が高い単元である。また、仲間の動きを真似したり、一緒に動いたり仲間を意識する姿が増え、共に活動する楽しさを感じている。生活の中で、音楽が流れると自然に体が動いたり、踊ったりする児童もいる。しかし、興味関心があることと表現

することは別であり、身体の使い方やリズムの取り方に苦手意識をもっていたり、人前で踊ることに恥ずかしさを感じたりする児童もいる。これらの困り感を解消するために、アンケートから得た情報や学習の中の動きから配慮してグループをつくった。

(3) 指導について

爽快なリズムに乗って全身で踊るためには、踊りへの抵抗感を減らす必要がある。そのために毎時間の導入時に、リズムダンスにつながる体や心をほぐすウォーミングアップ「まねっこ体操」を位置付ける。「まねっこ体操」は、教師の簡単な動きのまねをして、リズムに合わせて動く。そのウォーミングアップに手拍子を加えたり、自分なりの動きを付け加えたりしていくことで体や心がほぐれたり、即興的な動きを生み出したりできるようにもしたい。

授業の前半では、毎時間ジャンル別の多様な曲を使いながら、曲のリズムの特徴からどんなイメージかを児童に問い、そのイメージをもとに動く時間を設ける。様々な動きを教師と一緒に体験することで、体全体を使った多様な動きを習得できるようにする。また、その動きの中から児童のお気に入りの動きを出し合い、つないだり、組み合わせたりすることで、後半での即興的に踊る活動の見通しがもてるようにする。

授業の後半では、グループでリズムの特徴に合った動きで踊る。踊ることに困り感がある児童に対しては、前半練習で踊った動きを取り入れてみたり、仲間の動きに対応して踊ったりするよう指導する。さらに、動きに変化をつけて踊ることができるよう「空間・体・リズム・友達」の4つの視点を提示する。この4つの視点「空間・体・リズム・友達」を生かすことで、動きが変化した児童を評価し、全体に広げることで、新たな動きが習得できるようにもしていく。

3 単元指導計画

学年	第3学年	単元名	リズムダンス（全6時間）
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスの行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができるようにする。[知識及び技能] ・自己の能力に適した課題を見つけ、リズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを仲間に伝えることができるようにする。[思考力、判断力、表現力等] ・リズムダンスに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、仲間の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができる。[学びに向かう力、人間性等] 			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リズムダンスについて知ろう。(オリエンテーション)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・曲から、リズムダンスについてのイメージをもち、学習の流れや進め方を知ること、学習の見通しをもつことができる。 		リズムダンスについて知ること、表現運動領域の学習における既習の動きを想起し、学習の見通しをもっている。[主体的に学習に取り組む態度]
②	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロックのリズムに乗って、踊ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を捉えた踊り方を工夫して（弾む動きに、ねじる・回るなど入れる）リズムダンスをすることができる。 		リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、動きに変化を付けて踊ったりしている。[知識・技能]
③	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロックのリズムに乗って、友達とかかわり合いながら踊ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わり合いながらリズムダンスをすることができる。 		仲間や他のグループのよい動きを真似したり、取り入れたりすることで、動きの変化の付け方を見つけようとしている。[思考・判断・表現]
④ 本 時	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サンバのリズムに乗って、踊ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を捉えた踊り方を工夫して（弾む動きに、ねじる・回るなど入れる）リズムダンスをすることができる。 		リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、動きに変化を付けて踊ったりしている。[知識・技能]
⑤	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サンバのリズムに乗って、友達とかかわり合いながら踊ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わり合いながらリズムダンスをすることができる。 		自己の動き（踊り）に適した動きの変化の付け方を選んだり、仲間のよい動きを認めたり、取り入れたりしている。[思考・判断・表現]
⑥	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ダンス交流会をしよう。(学習のまとめ)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの交流会で、友達やグループのよい動きに気付くことができる。 		リズムの特徴を捉えて即興的に踊ったり、踊り方を工夫して仲間と見せ合ったりすることなどに進んで取り組もうとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿	
問題解決力	リズムダンスを通して、リズムの特徴を捉えて踊ったり、仲間のよい姿を取り入れたりしながら動きのコツを掴みよりよい動きを追求する姿。
関係構築力	リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、動きに変化をつけて踊ったりするために、(よりよい動きを追究するために) 考えたことをリズム言葉や動作で仲間に伝えたり、仲間の助言や動作を自分の動きに取り入れたりする姿。
貢献する人間性	練習や交流会から、仲間のよい動きに気付き、自分の動きに取り入れたり、他の仲間に広げようとしたりする姿。
自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て	
問題解決力	即興的に踊る動きを生み出すために、リズムの特徴のイメージを動きにした掲示を生かして、自分の動きに取り入れようとしているかを、活動の様子から見届ける。
関係構築力	よりよい動きにするために、考えたことをリズム言葉や動作で仲間に伝えたり、仲間の助言や動作を自分の動きに取り入れたりする姿から見届ける。
貢献する人間性	練習や交流会から、仲間のよい動きに気付き、自分の動きに取り入れたり、他の仲間に広げようとしたりしようとする姿から見届ける。

4 教科にかかわる本時のねらい

リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、動きに変化をつけて踊ったりすることができる。〔知識及び技能〕

5 本時の展開（4/6）

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 心と体をほぐすウォーミングアップ（①体じゃんけん ②まねっこ体操） <p>2 全体会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>サンバのリズムを知り、サンバのリズムに乗って、踊ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてを確認する。 曲のリズムの特徴やイメージを動きにする。 </div> <p>3 前半練習</p> <ul style="list-style-type: none"> サンバのリズムに乗って先生や仲間と踊る。 サンバのリズムの5～6曲を通して、基本的なリズムの特徴をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> リズムの特徴をつかむために、リズムの曲調が異なる曲を使いながら動きを確認していく。 どこをどう動かすのかが確認できるように、提示しておく。 リズムの特徴を捉え、リズムに乗り、リズムに合わせて動くことで、自分たちの動きを自由に、即興的に踊るための手掛かりとする。 </div> <p>4 中間研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> 前半練習で踊った中から、お気に入りの動きを出し合い、その動きをつないだり、組み合わせたりして、次の自由な動きにつながるようにする。 動きに変化をつけて踊ることができるように4つの視点に注目させる。 <p>5 後半練習</p> <ul style="list-style-type: none"> サンバのリズムの特徴に合った動きで、グループ（3人）を中心に踊る。 基本的なステップからお気に入りの動きをつないだり、組み合わせたりして、自由に踊れるようにする。 グループで動きを合わせて踊ったり、反対の動きで踊ったりする。 <p>6 交流会、全体会</p> <ul style="list-style-type: none"> グループのペア（3人と3人）を作り、交流会をする。（ペアのダンスを見たり、一緒にまねをして踊ったりしてお互いに認め合う場） 本時の振り返りをし、交流する。 	<p>（●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力）</p> <p>○●児童が学習への見通しや意欲がもてるよう、前時までの学習の自分や仲間の動きを確かめ、本時の課題につなげる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>よりよい動きにするために、考えたことをリズム言葉や動作で仲間に伝えたり、仲間の助言や動作を自分の動きに取り入れたりする姿から見届ける。（関係構築力）</p> </div> <p>○動きのコツを仲間の動きのよいところや自分とのちがいを探することができるように指導する。</p> <p>●体全体で弾んで踊ることができるように意識させる。</p> <p>●リズムの特徴を捉えられるように、手拍子や、体の揺れなどで感じさせる。</p> <p>●動きに変化をつけることができるように、4つの視点「空間・体・リズム・仲間」を使い指導する。</p> <p>○リズムダンスに苦手意識をもっている仲間を支援しようとする姿や自分にはない動きや考えを認めようとする姿を認め広げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、動きに変化をつけて踊ったりしている。</p> <p>〔知識・技能〕</p> </div>

【公開Ⅱ】 7年2組 保健体育科学習指導案

南体育館 潮田 航大

1 単元名 球技 バレーボール

2 指導の立場

(1) 題材について

学習指導要領解説では、バレーボールについて「ネット型とは、コート上でネットを挟んで相対し、身体や用具を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うゲームである。」と示されている。バレーボールは、6人対6人で互いに空中でボールをやり取りする対峙型の球技であり、他の対峙型の球技（卓球、テニス、バドミントン）と異なり、「コート内で複数人が協同して一定の回数内でボールをつなぎ、相手コートに返球し、相手は協同して守る。」という「協同攻防」の姿がある。ゲーム中は刻々と変化する事態に対応する力が求められるため、6人がそれぞれの役割や責任を果たすことが必要である。また、ボール操作する時間より、ボールを持っていない時間のほうが圧倒的に長いことからボールを持っていない時の動きに注目することが重要である。また、バスケットボール等の攻守入り乱れの競技とは違い、3本で返す間に、仲間と連携をしながら攻撃を組み立てやすい題材である。

(2) 児童生徒について

ほとんどの生徒が前期課程でソフトバレーボールを使用した4人制のキャッチバレーボールを経験しており、1本目を拾った後、セッターの位置に動くことや2本目はセッターに受け渡すこと、カバリの姿勢を理解している。本単元では、通常のバレーボールを使用している。そのため、返球し

ようとするときにうまくはじくことができず、仲間に安定したパスをすることや、相手コートに返球することに難しさを感じている。また、ボールを持っていない時に連動した動きを習得していないため、キャッチした後に、どこにパスを上げればよいのか迷ってしまい、保持する時間が長くなってしまいう状況が見られる。

本単元では、場面に応じた動きの判断をし、仲間と連携を意識した攻撃を組み立てることができるようにしていく。

(3) 指導について

本校では、バレーボールの醍醐味である「スパイクで決める3本返球」を義務教育の出口の姿と捉え、2年生から系統的にバレーボールの指導を行ってきている。7年生では、「安定したパスでボールをつなぎ、空いた場所をめぐる攻防ができる」ことを目標とした。

本単元では、場面に応じた判断ができるようにするために、ボールを見て声を出すことが必要であると考え、相手や仲間がボールを打つ瞬間に声を出すことや場面や状況に応じた声を使い分けて出すことを指導する。それらの声を支えに、それぞれの生徒が先を見通して動き、安定して3本返球ができるようにしたいと考える。

また、仲間との連携を意識した攻撃を組み立てるために、1本目、2本目、3本目の各場面でのボールを持っていない動きを2時間ごとに学習する単元構成にした。自分がボールを打つのか、仲間に任せるのか、任せるならどこに動くのかを瞬時に判断して動くことができるよう、繰り返し指導することで、練習したことがゲームに活かせるようにしたいと考える。

これらを通して、仲間同士で動きを要求したり、動きの良さやお互いの考え方を認め合ったりしながら、バレーボールの楽しさに触れていくことができるようにしたいと考える。

3 単元指導計画

学年	第7学年	単元名	球技 バレーボール (全15時間)
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや技術を理解するとともに相手や仲間、ボールの動きに応じて身体を動かし、ボールをつなぎ、空いた場所をめぐる攻防ができる。[知識及び技能] ・ボールをつなぐためにボール操作やボールをもたない動きについて自己やチームの課題を発見し、解決方法について考えたり助言したりすることができる。[思考力、判断力、表現力等] ・バレーボールに積極的に取り組むとともに、1人1人の違いに応じたプレイなどを認めようとすることや仲間の学習を援助しようとするすることができる。[学びに向かう力、人間性等] 			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	<p>バレーボールの授業やゲームのルールを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレーボールの授業の流れやねらい、目標について知ることができる。 ・ふぞっく子バレーのルールを基にした試しのゲームからルールについて知ることができる。 <p>ルール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1本目はキャッチしてもよい。ただし、体の方向転換やボールの保持は禁止。パスの形で行うこと。 2. 返球するまでにボールに触っていいのは1人1回のみ。 3. サーブは、後衛にアンダーハンドサーブまたはオーバーハンドパスで行うこと。 4. ボールが落下したらローテーションを行う。 5. 相手コートに3本で返球すること。 		バレーボールの授業の流れやルールについて理解し、授業に向かう姿勢や目標を考え、取り組もうとしている。[主体的に学習に取り組む態度]
②	<p>試しのゲームから自分たちに必要なことを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試しのゲームからボール操作や仲間の動きについて自己やチームの課題を見つけることができる。 		自分の動きや仲間の動きから課題を見つけ、課題を克服するための方法を考えている。[思考・判断・表現]
③	<p>ボールが地面に落ちないように、素早く反応ができ、仲間とパスをつなぐことができるゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間（相手）やボールの動きを見て、予測し、体の向きを変えたり、1歩目を早く動き出したりすることができる。 ・素早くボールの落下地点に入るための基本姿勢やボールをもたないときの姿勢を身に付けることができる。 		ボールの落下地点に入るために準備姿勢や予測、基本姿勢の大切さに気付き、実践することができる。[知識・技能]
④	<p>仲間が取りやすいようボールを高く緩いパスを意識したゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパスの基本姿勢や相手を取りやすいパスを身に付けることができる。 ・仲間（相手）との距離を考えてパスを出すことができる。 ・仲間とボールをつなぐために高さのある「ふわっ」としたパスをする必要性に気付くことができる。 		ボールの落下地点に入り、相手を取りやすいパスを意識して、高さのある、「ふわっ」としたパスをすることができる。[知識・技能]
⑤ ⑥ 本時	<p>返球しやすくするための1本目の動きをどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1本目をパスするのかわからないかを判断し、声を出すことができる。 ・1本目をパスすると判断した場合、自分の位置やボールを確認し、仲間に安定したパスを出すことができる。 		実践したり、仲間と交流したりしながら、1本目から2本目につなぐ場面において、より3本目で返球しやすい動きを考えている。[思考・判断・表現]

	<ul style="list-style-type: none"> ・1本目を取らないと判断したとき、2本目や3本目に備えて動くことができる。 ・パスをつなぐ場所はどこなのか、動く場所はどこなのかを実際に動いたり、話し合ったりして確認する。 	
⑦ ⑧	<p>返球しやすくするための2本目の動きをどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上がってきたボールの位置や上がってくるボールの方向に応じてパスをする仲間を判断することができる。 ・2本目は上げる方向に体を向け、ネット際に山なりのパスを出すことができる。 ・3本目を準備する際に返球しやすい動きをすることができる。 ・仲間や相手の位置確認をしたり、仲間がパスをしやすい空間を見つけ、仲間同士で声をかけ合ったりすることができる。 	実践したり、仲間と交流したりしながら、2本目から3本目につながる場面において、より3本目で返球しやすい動きを考えている。[思考・判断・表現]
⑨ ⑩	<p>返球しやすくするために3本目の動きをどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2本目のボールに応じて走り込み、相手コートに確実に返球することができる。 ・ボールに応じて確実に返球する動きができるよう、仲間に声掛けをすることができる。 ・3本目の返球をしないと判断したときに、相手からの返球に備えて定位置に戻ることが必要であることに気付き、相手からの返球に備えた1本目の動きをすることができる。 	実践したり、仲間と交流したりしながら、3本目の場面において、3本目に返球しやすい動きと相手からの返球に備えた1本目の動きを考えている。[思考・判断・表現]
⑪	<p>3本目を狙って返すゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2本目のボールに応じて確実に返すのか、狙って返すのかを判断することができる。 ・ボールに応じて返球する動きができるよう、仲間に声掛けをすることができる。 ・得点できた場面から狙って返すための動きについて考えることができる。 	実践したり、仲間と交流したりしながら、3本目の場面において、狙って返すための動きを考えている。[思考・判断・表現]
⑫ ⑬ ⑭ ⑮	<p>リーグ戦を通して、課題や成果を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを行っていく中でチームの特徴に応じて作戦を変えたり、チームや仲間の課題について明確にし、仲間とアドバイスをしあったりしながら動きを高めることができる。 ・仲間と楽しくバレーボールのゲームを行うことができる。 	ゲームを行いながら、相手チームに応じた作戦や相手やボールに応じた動きを行うことができる。[知識・技能]

単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿

問題解決力	ゲームや練習を通して、見つけた自己や仲間、チームの課題について、よりよい動きを追究する姿。
関係構築力	練習やゲームを通して見つけた課題に対して、実践したり、仲間と交流したりしながら考え、解決に向かう姿。
貢献する人間性	練習やゲームから相手チームや自チームの仲間の良い動きに気付き、自分に取り入れたり、チームの動きを高めようと声をかけ、作戦を考えようとしたりする姿。

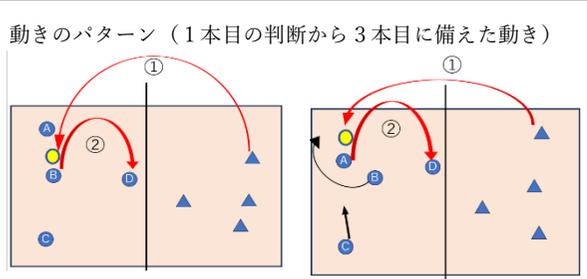
自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て

問題解決力	試しのゲームから見つけた学習目標を設定し、単位時間ごとに課題意識をもちながら取り組んでいるか、仲間の意見からどのように変容したのかを学習カードや動きから見届ける。
関係構築力	仲間や相手、ボールの動きについて視点を与え、実践したり、仲間と交流したりしながらよりよい動きを追究する姿を練習やゲームなどから見届ける。全体会にて変容した姿の裏に仲間とどのような関わりがあったかを確認し、価値付ける。
貢献する人間性	相手チームや仲間の動きのよさに気付けるように、全体の前でチームを認め、価値付けるとともに、自分や自チームにも真似ができることがないかを考えさせる。

4 教科にかかわる本時のねらい

1本目から2本目をつなぐ場面において、実践したり仲間と交流したりしながら3本目でより返球しやすいような動きについて考えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕

5 本時の展開（6/15）

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円陣パスやネット越しのパス練習から自分の動きや仲間の動きについて確認し、パスをつなげるために必要な動きの課題を見つける。 <p>2 全体会、グループ会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>返球しやすくするための1本目の動きをどうするか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの動きについて振り返り、1本目に安定したパスでつなぐことや2本目3本目に備えるために必要な動きについて考える。 <p>3 前半練習</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>動きのパターン（1本目の判断から3本目に備えた動き）</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>動きを高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員で声を出す。 ・1本目を取る人「はい」 ・1本目を取らない人「○○さん」 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や仲間、ボールの動きに合わせて全員が声を出す。 ・相手からのサーブを取らないと判断したときに2本目や3本目に備えて動く。 ・2本目や3本目を想定した動きに余裕をもたせるために1本目のパスを工夫する。 →「ぽーんっ」とした緩く、高さのあるパス。 ・ボールが落下したら必要に応じてグループ会を行う。 ・パスをつなぐ場所はどこなのか、動く場所はどこなのかを実際に動いたり、話し合ったりして確認する。 <p>4 後半練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習したことがゲームで実践できているのか確認する。 <p>5 グループ反省会、全体会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ反省会では、本時の課題について振り返り、全体会では、動きの高まりを確認する。 	<p>教師の手立てと見届け</p> <p>（●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力）</p> <p>○●前時までの自分の動きや仲間の動きを確かめ、本時の課題につなげたり、課題に必然性をもたせたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>1本目は、2本目につながるように仲間に高く緩いパスをするなどの動きの高まりや2本目や3本目を見越した動きを追究するために、仲間と意見を出し合いながら考えて動く姿を練習やゲームなどから見届ける。（関係構築力）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●ボールの道筋に応じた体の向きや動きを身に付けるために相手がボールを打つ瞬間に全員で声を出すように促す。 ●自陣でパスがつかないグループには、練習を止めて状況を確認し、よりよい動きを考える場を位置付ける。 <p>○1本目から2本目の動きを高めるために、声を出したり、ボールの動きから瞬時に判断し、2本目や3本目を見越して動いたりしている生徒を価値付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価規準】</p> <p>実践したり、仲間と交流したりしながら、1本目から2本目につなぐ場面において、より3本目で返球しやすい動きを考えている。〔思考・判断・表現〕</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●課題達成に近づけるように考えて行動していたグループや、動きがよくなったグループを紹介して、次時への課題につなげる。